

世界遺産暫定一覧表の見直しの動きについて

1 経緯

- 平成18年11月 世界遺産暫定一覧表追加記載に向けた提案制度により、世界遺産暫定一覧表追加資産提案書「錦帯橋と岩国の町割」を、文化庁に提出。
- 平成19年1月 文化庁の審査結果:「継続審査」⇒再提案(同年12月)
- 平成20年9月 文化庁の審査結果:「カテゴリーIa」
- 平成30年12月 「世界遺産暫定一覧表記載資産候補提案書 錦帯橋」を文部科学大臣へ提出。

2 世界文化遺産登録に向けての主な課題

- 緩衝地帯の再定義や適切かつ十分な保護・保全レベルを踏まえた保存・活用計画の策定など。
- 錦帯橋の顕著な普遍的価値(OUV)について、国内外専門家間の合意形成促進。
- 真実性に対する国際的な合意形成。

3 課題に対する最近の取組等

- 錦帯橋(資産)及びその周辺地域(緩衝地帯)の保護措置
 - 令和3年5月「名勝錦帯橋保存活用計画」の文化庁長官認定
 - 令和3年10月「錦川下流域における錦帯橋と岩国城下町の文化的景観」が国の重要文化的景観に選定
- OUVに関する研究等
 - 令和3年12月一般社団法人日本イコモス国内委員会の現地視察等の実施
 - 評価基準及び錦帯橋のOUVを伝える属性についての検討・研究
- 国際的な合意形成等
 - 平成31年3月国際意見交換会を実施
 - 令和4年12月錦帯橋世界遺産国際オンラインミーティングの実施

4 世界遺産暫定一覧表の見直しの動きについて

- 世界遺産暫定一覧表の見直しについて、令和3年3月、文化審議会が文部科学大臣に第一次答申。今後、文化審議会世界文化遺産部会にて暫定一覧表の見直しの具体的な手順等の議論がされ、最終的な答申がされる予定(非公開のため詳細不明)。

<参考> 【我が国の世界遺産(文化遺産)暫定一覧表】

資産名	記載年	備考
古都鎌倉の寺院・神社	平成4年	
彦根城	平成4年	R5年度に事前評価制度に申請する方針
飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群	平成19年	保護措置等の課題に取組中
金を中心とする佐渡鉱山の遺産群	平成22年	R5.1 ユネスコへ推薦書を提出
平泉-仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群-(拡張)	平成24年	